

地域活性化に資する灯台活用に関する有識者懇談会 設立趣旨

航行する船舶の指標となる灯台は、船舶交通の安全を確保するとともに、船舶の運航能率の増進を図ることで国民の生活や経済活動を支える重要なインフラです。近年の技術の進展に伴う航海計器の発展・普及により、そのあり方は変化しつつありますが、航行安全の観点から灯台の重要性は不変のものです。

一方、灯台の中には、歴史的・文化的価値を有するものや、周辺の風景と調和して美しい景観を生み出しているものなども多く、観光資源等として活用され、地域にとっても重要なものとなっています。

海上保安庁の今後の海上安全政策の方向性及び具体的な施策のあり方を提示する「第4次交通ビジョン(平成30年4月、交通政策審議会答申)」では、重点的に取り組むべき事項として「灯台観光振興支援」が掲げられました。

「灯台観光振興支援」は、地方公共団体等による灯台の観光資源としての活用等を積極的に促すことにより、地域活性化にも一定の貢献を果していくとともに、海上安全思想の普及や国民の灯台への理解の促進につながるものです。

このため、本懇談会は、「灯台観光振興支援」を推進するため、灯台の付加価値を高め、地域による灯台の活用を広げていくために必要な方策について幅広く議論することを目的に設立するものです。